

コマンド名	省略形	機能内容	設定範囲	初期値
PERSIST	PE	P-persisten CSMA方式の確率を設定する。	0 - 255	128
PPERSIST	PP	P-persisten CSMA方式にするかどうかの設定	ON/OFF	ON
RAMTEST	RAMTEST	RAMクリア後、RAMチェックする。	—	—
READ	R	指定したメッセージ番号のメッセージを読む	n,n,...,n	—
RESET	RESET	パラメータを初期値に戻す。バックアップしていた内容も初期化する。	—	—
RESPTIME	RES	確認パケットの送信遅延時間を設定する。100ms単位	0-250	5
RESTART	RESTART	TNCの電源を切り、再度入れる。	—	—
RETRY	RE	リトライ送信の回数を設定する。	0-15	10
ROUTE	ROU	FWD転送で転送ルートを入れるかどうかの設定	ON/OFF	ON
SENDPAC	SE	パケットを送信させる文字コードを設定する。	0-\$7F	\$0D
SLOTTIME	SL	P-persisten CSMA方式の乱数発生時間間隔を設定する。	0-250	3
SPATH	SPATH	UISSIDで中継するときに置き換える中継局リストの設定をする。	Call1,...,Call7	—
STREAMCA	STREAMC	マルチコネクト時コールサインも表示するかどうかを設定する。	ON/OFF	ON
STREAMDB	STREAMD	ストリームスイッチ文字をダブルで表示するかどうかを設定する。	ON/OFF	OFF
STREAMSW	STR	ストリーム切り替え文字コードの設定をする。	0-\$7F	\$01
TOUT	TOUT	メッセージボードのタイムアウト時間の設定	0-250	30
TRACE	TRAC	メッセージ内容と全部 (ON) または一部の (OFF) フレームを表示する。	ON/OFF	OFF
TRANS	T	トランスペアレントモードに移行する。 Ctrl-C X3回でコマンドモードに戻る。	—	—
TRFLOW	TRF	トランスペアレントモードでフロー制御するかどうかの設定をする。	ON/OFF	OFF
TRIES	TRI	リトライカウンターの内容を変更する。	0-15	0
TXDELAY	TX	PTTをONにしてからデータを送信し始めるまでの時間を設定する。10ms単位	0-120	50
TXFLOW	TXF	トランスペアレントモードでフロー制御するかどうかの設定をする。	ON/OFF	OFF
UICHECK	UIC	UIディジビートの時、以前に聞こえたUIフレームを中継しないようにするための時間。1s単位	0-250	28
UIDIGI	UI	設定した条件に合致したUIフレームが聞こえたとき、自局コールに置き換えて中継するかどうかを設定する。	ON/OFF, Call1,...,Call4	OFF,—
UIDWAIT	UIDW	UIディジビート時に、PPERSISTコマンドやDWAITコマンドを有効にするかどうかの設定をする。	ON/OFF	OFF